

シャロームメモ

2019. 7. 19

第10号

1. 「シャローム平和のための祈りのセンター 7月の意向」を共に祈りましょう

今月は以下の祈りの意向が寄せられました。 恵みの家が全世界の SSND を代表して世界の平和を祈る 23 日に、コミュニティで、個人で、または関わりある方々と共に心を合わせて祈りましょう。

- ① 死刑廃止のために祈ります。日本には現在約 112 名の確定死刑囚がいます。毎年のように死刑が執行され、2018 年には 15 名、安倍政権下ではすでに計 46 名と極めて多数が処刑されています。教皇フランシスコは「死刑は福音に反しており、容認できない」と断言しておられます。そして、2018 年改訂の「カテキズム」には全世界で死刑が廃止されるために決意をもって取り組むと書かれています。教戒師の働きもあり、罪に陥った人々も回心の恵みをいただいています。日本での死刑廃止が一日も早く現実のものとなりますよう、そのため私たちも意識を深め、祈り、行動することが出来ますようお導きください。
- ② 国連で「核兵器禁止条約」が採択されて 7 月 7 日で 2 年になりました。50ヶ国が批准をして 90 日後に条約は発効します。来年には条約が発効する見通しですが、核保有国と日本を含む核の傘の下で生きている国々がこの条約を認めて批准し、地上から核兵器がなくなる日が一日も早く来ますように、そのために私たちが今なすべきことを教えてください。
- ③ 7 月 30 日は「世界反人身売買の日」です。私たちが、人身売買の犠牲者が置かれている現状への気づきを深め、彼らの人権を守り育てる責任をとることが出来ますよう、人類の間に広がるこの悪が完全に撲滅されますように祈ります。この取り組みを通して私たちが、愛をもって世界を変える力となる出来ますよう、助け導いてください。
- ④ ユニセフによると、現在もなお、約 6、100 万人の子供達が様々な理由で学校に通えず、初等教育さえ受けられていません。中学、高校を入れるとその数は 2 億 6,400 万人にのぼるそうです。全ての子供・若者に十分な教育機会が提供されるために、私たちがそれぞれの立場で今できることを知り、それを

実行して

(2 ページ目に続きます)

行くことができますように。神の導きと照らしを祈ります。

- ⑤ 韓国における元徴用工問題の裁判において、韓国の最高裁(大法院)判決が日本企業に対して元徴用工への賠償を命じたことで、日韓関係の緊張が極度に高まっています。日韓双方の主張は食い違い、解決への糸口が見えません。日韓両国政府がこの件につき、経済報復の応酬により後戻り出来ない最終局面を迎えることなく、冷静な協議の席に着くことが出来ますようお導きください。

2. 8月の『国際シャローム平和を祈る日』の意向を募集しています。

幅広く社会のニーズに心を向けて祈るため、多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

8月19日(月)までに本部オフィスまたはS. ジュディスにお届けください。

平和のための祈りのセンターはシャローム活動の発電所です。毎月23日の祈りを通して、世界の苦しむ人々のため、世界平和への様々な取り組みとその実現のため、自然界に健全さを取り戻すため、私たち自身がこれらの課題への気づきに成長し行動して行くことができるようになるため、心を合わせて祈りましょう。

より多くの皆さまから祈りの意向が寄せられることで、私たちの祈りの視野が広がり、深まります。よろしく願いいたします。

3. お知らせ

- ① 映画『ヒロシマ ナガサキ 最後の二重被爆者』チラシ同封

場 所：京都シネマ（四条烏丸 下る西側 COCON 烏丸 3階）

上映日時：7月20日～26日 16:30～18:00 料 金：シニア1100円

広島と長崎で二度被爆した『二重被爆者』、故・山口彊さんは言う。「人間の世界に核はあってはならない。核の平和利用と言っても、技術的にも倫理的にも問題があり、事故は止まらない。核が無くならないなら、人類は滅亡に近づく。そのことを伝えるために、今も生かされていると思っている」

- ② 演劇『悲しみの星条旗』チラシ同封

場 所：京都府民ホール Alti (アルティ) 地下鉄「今出川駅」下車、6番出口より南へ5分

上演日時：8月1日(木)19:00／8月2日(金)14:00, 19:00

料 金：2000円(前売り・当日共) 学生 1000円、シニア料金なし

2011年3月11日の東日本大震災に際して、米軍は災害救援活動トモダチ作戦を展開した。しかし、空母ロナルド・レーガンなどに搭乗して作戦に参加した兵士たちが被曝し、ある者は死亡、多数が今なお後遺症に苦しんでいることを日本人の多くは知らない。国から見捨てられた兵士たちの苦悩を赤裸々に描くこのドラマを、あれから8年経った今、私たちは直視しなければならない。

③ 戦争展企画：チラシ同封

場 所：立命館大学 国際平和ミュージアム 中野記念ホールを中心に

市バス「立命館大学」下車5分

開催日時：7月29日(月)～8月4日(日)連日 9:30～16:30

入場無料 詳細はチラシをご覧ください。

④ 「ハイサイ グスーヨー（皆さんこんにちわ）」小冊子をお届けします

沖縄の基地問題を理解するための小冊子で、3年前に那覇司教区平和委員会によって作られました。各共同体に3～4部お届けしますので、ご活用ください。アソシエートの皆さまには、集いの機会などにお渡しいたしますので、ここには同封しておりません。

⑤ パンフレット「憲法9条が、日本を戦争しない国に！」を再度お届けします。

日本国憲法の意義、改定の問題点などが簡潔にわかりやすく書かれています。自分自身ももう一度じっくり読み、他の方々にもお勧めください。

チラシ／パンフレットなどは多めに入れますので、お知り合いに分かち合ってください。

⑥ 8月は「シャローム国際連帯の日の省察」はありません。

8月お盆明けに「シャローム／国連—NGO ニュースレター」をお届けします。